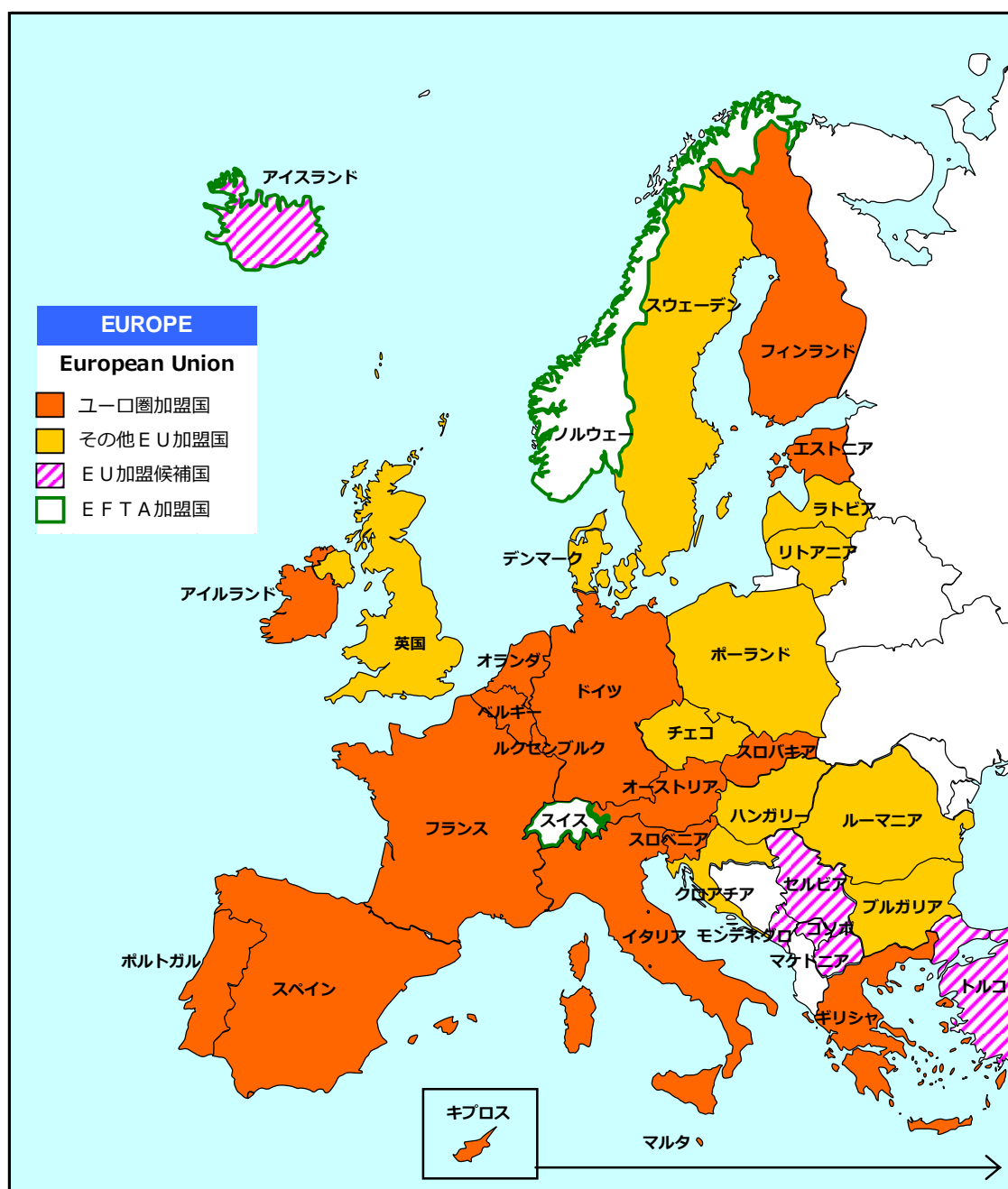


2013年11月21日 全13頁

# 欧州経済アップデート (2013.11)

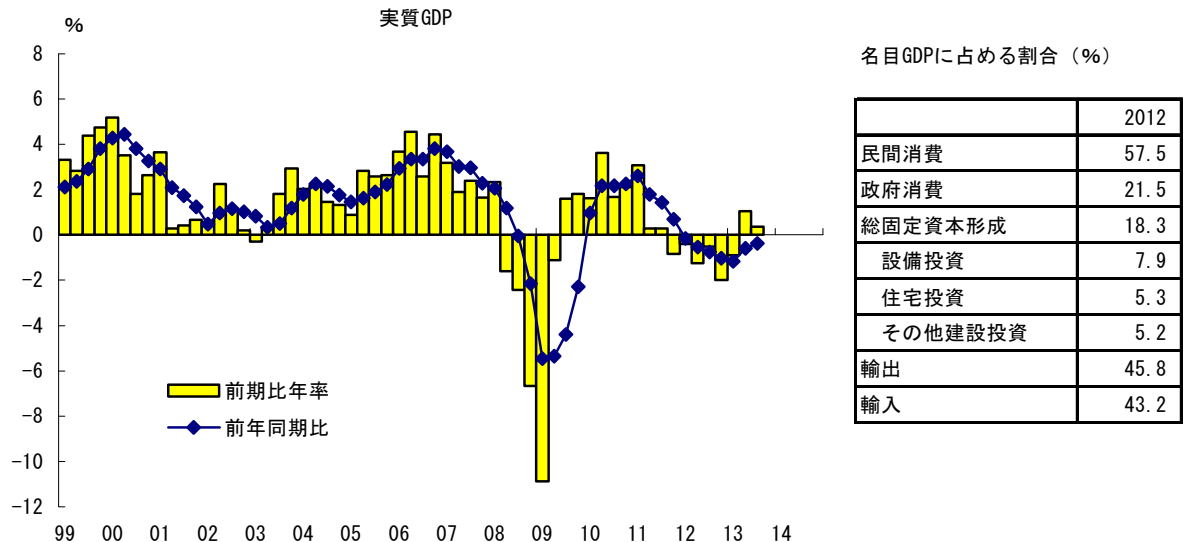
経済調査部  
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

## ユーロ圏 GDP

- 13年Q3のGDP成長率（速報）は前期比+0.1%に減速し、かろうじて2四半期連続のプラス成長となった
- 国別ではドイツが牽引するも、Q2より減速。フランスは再び前期比マイナスに転落した
- 13年Q3の内訳は、12月4日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3
実質GDP	0.4	0.9	0.4	0.5	0.8	0.1	0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1	-0.5	-0.2	0.3	0.1
個人消費	0.1	0.2	0.3	0.5	0.1	-0.5	0.2	-0.6	-0.4	-0.6	-0.1	-0.4	-0.3	0.1	-
政府消費	-0.4	0.2	0.1	-0.0	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.1	-0.0	0.4	-
総固定資本形成	-0.2	1.7	0.2	-0.5	2.4	-0.7	-0.2	-0.6	-1.2	-2.0	-0.4	-1.2	-2.3	0.2	-
設備投資	2.2	2.9	1.5	1.0	2.1	0.1	0.5	-1.0	-0.8	-2.1	-0.6	-1.1	-2.2	0.4	-
住宅投資	-0.7	1.6	-0.9	-1.8	2.6	-1.2	-1.0	-0.5	-0.6	-1.6	-0.2	-1.4	-1.8	0.6	-
その他建設投資	-3.1	0.0	-0.5	-1.4	2.5	-1.5	-0.5	-0.2	-2.2	-2.0	-0.4	-1.2	-3.0	-0.6	-
輸出	3.1	4.3	1.9	2.5	1.7	0.4	1.2	0.4	0.8	0.9	0.7	-0.5	-0.9	2.1	-
輸入	3.5	4.2	1.3	2.0	1.5	-0.1	0.6	-1.2	0.0	-0.2	0.3	-0.9	-1.0	1.6	-

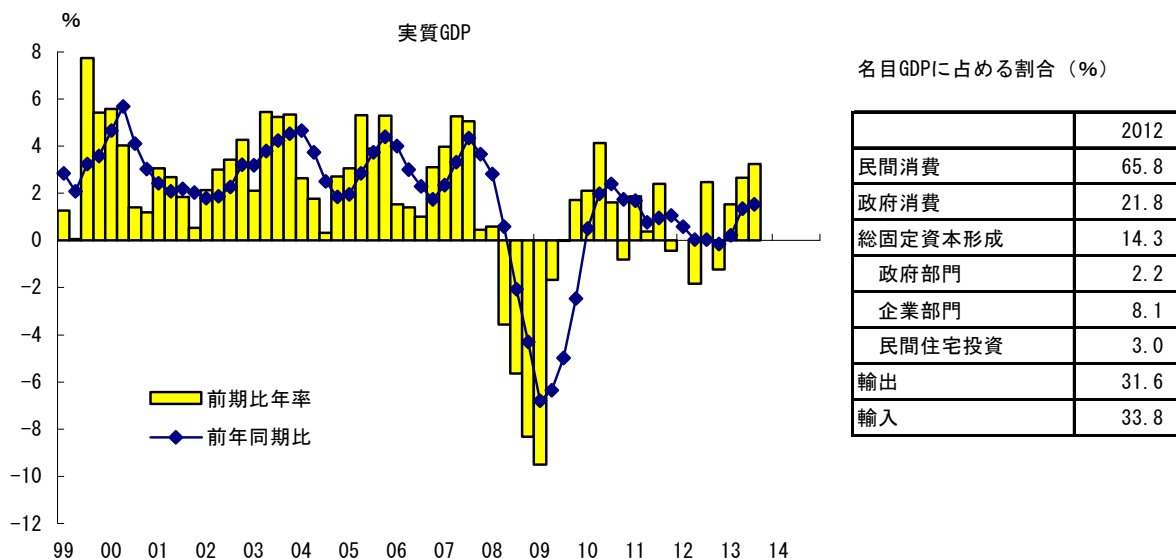
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3
実質GDP	0.41	0.90	0.41	0.53	0.76	0.07	0.07	-0.21	-0.10	-0.31	-0.12	-0.50	-0.23	0.26	0.09
個人消費	0.08	0.14	0.17	0.28	0.1	-0.31	0.13	-0.35	-0.20	-0.31	-0.06	-0.23	-0.14	0.06	-
政府消費	-0.09	0.04	0.02	-0.00	-0.03	0.02	-0.06	0.04	-0.06	-0.05	-0.05	0.02	-0.00	0.09	-
総固定資本形成	-0.04	0.32	0.05	-0.09	0.44	-0.14	-0.04	-0.11	-0.22	-0.36	-0.08	-0.22	-0.41	0.03	-
設備投資	0.18	0.23	0.13	0.08	0.18	0.00	0.04	-0.08	-0.07	-0.18	-0.05	-0.09	-0.18	0.03	-
住宅投資	-0.04	0.09	-0.05	-0.10	0.14	-0.06	-0.05	-0.03	-0.03	-0.08	-0.01	-0.07	-0.09	0.03	-
その他建設投資	-0.16	0.00	-0.02	-0.07	0.12	-0.08	-0.02	-0.01	-0.11	-0.10	-0.02	-0.06	-0.14	-0.03	-
在庫変動	0.52	0.30	-0.09	0.09	0.18	0.29	-0.25	-0.42	0.03	-0.08	-0.12	-0.20	0.32	-0.15	-
輸出	1.22	1.73	0.81	1.05	0.74	0.15	0.54	0.16	0.35	0.42	0.30	-0.22	-0.42	0.94	-
輸入	-1.30	-1.62	-0.52	-0.80	-0.63	0.06	-0.24	0.48	-0.01	0.09	-0.11	0.36	0.42	-0.67	-
純輸出	-0.08	0.11	0.29	0.25	0.11	0.21	0.30	0.64	0.34	0.50	0.19	0.14	-0.01	0.27	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 GDP

- 13年Q3のGDP成長率（速報）は前期比+0.8%と3四半期連続のプラス成長となった
- 業種別で見ると、サービス業が最大のプラス寄与であったが、前期比伸び率では、民間住宅及び商業施設建設の増加により、建設業が最大となった
- 13年Q3の内訳は、11月27日に発表予定



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	1001	1002	1003	1004	1101	1102	1103	1104	1201	1202	1203	1204	1301	1302	1303
実質GDP	0.5	1.0	0.4	-0.2	0.5	0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.5	0.6	-0.3	0.4	0.7	0.8
個人消費	-0.8	1.5	-0.0	0.4	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.3	0.4	0.1	0.6	0.5	0.3	-
政府消費	-0.3	0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.4	-1.4	0.2	0.3	-0.2	0.5	-
総固定資本形成	5.9	-1.7	4.1	-3.8	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	3.6	-0.8	-2.4	-3.8	0.1	0.8	-
政府部門	-4.1	-6.2	4.0	-2.2	0.0	-13.3	5.1	-4.8	16.5	-2.9	-6.3	-2.0	-11.7	14.1	-
企業部門	10.5	-10.1	8.6	-5.2	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	6.6	-2.4	-1.0	-6.6	1.7	-2.7	-
民間住宅投資	23.8	18.5	-4.6	-0.2	-6.5	6.2	7.8	1.1	-8.8	1.4	-1.9	1.4	3.0	2.7	-
輸出	0.3	4.0	0.3	2.6	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.8	-0.4	2.0	-1.7	0.1	3.0	-
輸入	1.9	2.7	2.5	1.1	-2.6	-0.7	1.0	1.1	0.6	1.4	0.8	-0.9	-0.8	2.9	-

英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

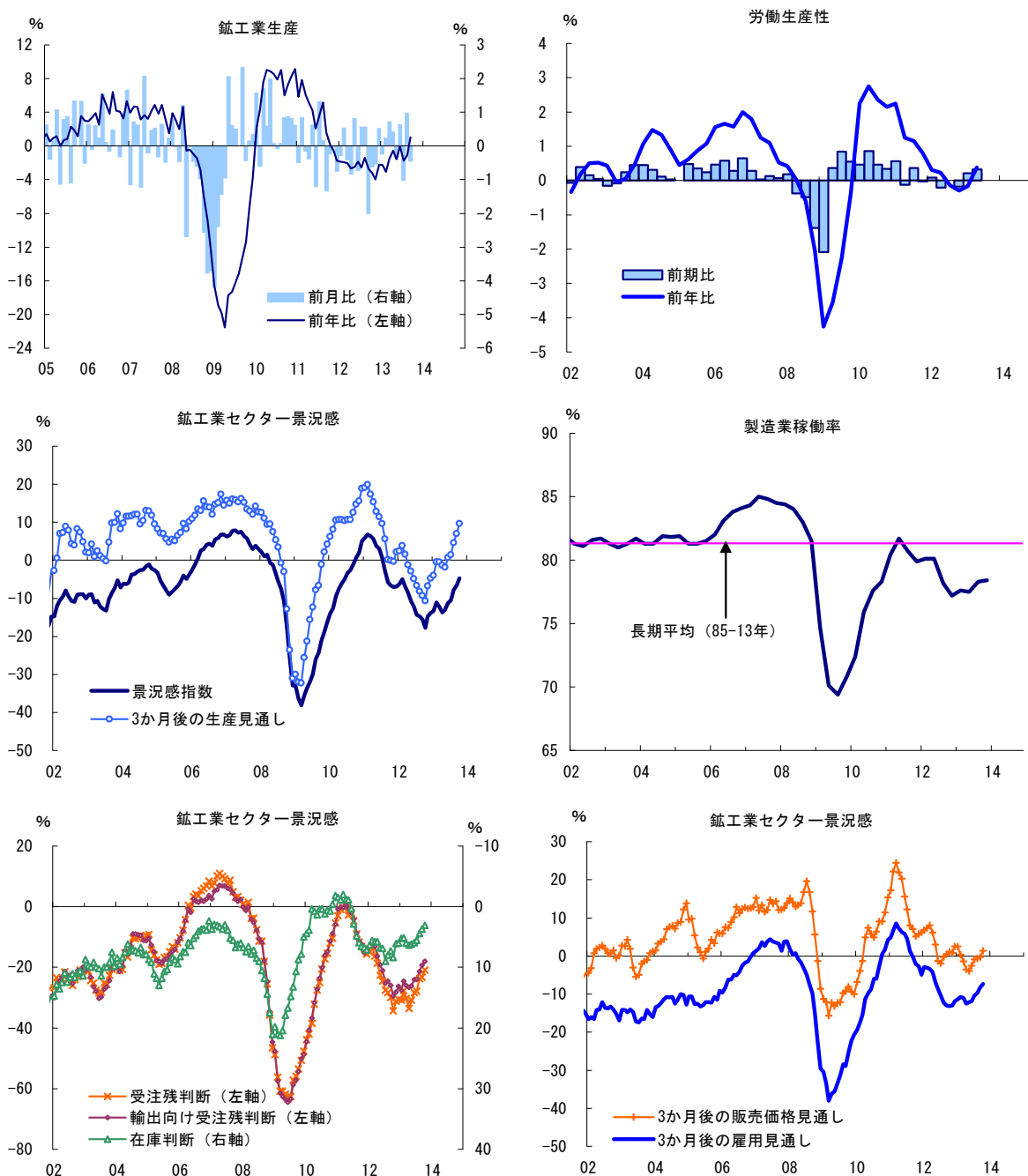
	1001	1002	1003	1004	1101	1102	1103	1104	1201	1202	1203	1204	1301	1302	1303
実質GDP	0.53	1.02	0.40	-0.20	0.47	0.10	0.60	-0.11	0.00	-0.46	0.61	-0.31	0.38	0.66	0.80
個人消費	-0.50	0.95	-0.00	0.26	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.18	0.29	0.06	0.37	0.35	0.19	-
政府消費	-0.07	0.11	-0.03	-0.02	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.54	-0.32	0.06	0.06	-0.05	0.12	-
総固定資本形成	0.85	-0.26	0.60	-0.58	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.52	-0.12	-0.36	-0.55	0.02	0.10	-
政府部門	-0.11	-0.16	0.10	-0.05	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.34	-0.07	-0.15	-0.04	-0.25	0.27	-
企業部門	0.83	-0.88	0.67	-0.43	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.53	-0.20	-0.08	-0.54	0.13	-0.21	-
民間住宅投資	0.55	0.52	-0.15	-0.01	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.30	0.04	-0.06	0.04	0.09	0.09	-
在庫変動	1.07	-0.07	0.53	-0.29	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.31	0.36	0.48	0.01	-0.30	0.16	-
輸出	0.10	1.18	0.08	0.77	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.57	-0.14	0.64	-0.55	0.02	0.94	-
輸入	-0.60	-0.84	-0.80	-0.35	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.21	-0.47	-0.26	0.31	0.27	-0.94	-
純輸出	-0.50	0.34	-0.72	0.42	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.78	-0.61	0.37	-0.24	0.29	0.00	-

注：英国統計局の基準改定により、企業部門と民間住宅投資が遡及して修正された（13年Q1の第3次推計で発表）。新基準では、従来含まれていた経済的価値を生み出さない既存の建造物や土地などの譲渡に関する費用が除外されている

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 9月の鉱工業生産は前年比+1.1%と11年10月以来のプラス成長となった。不振が続いていた製造業が増加に転じたため
- 10月の鉱工業セクター景況感は6か月連続の前月比改善。構成要素のうち3か月後の生産見通しの改善が目立つが、その他も順調に改善している
- 13年Q4の製造業稼働率は78.4%とQ3の78.3%からほぼ変わらず

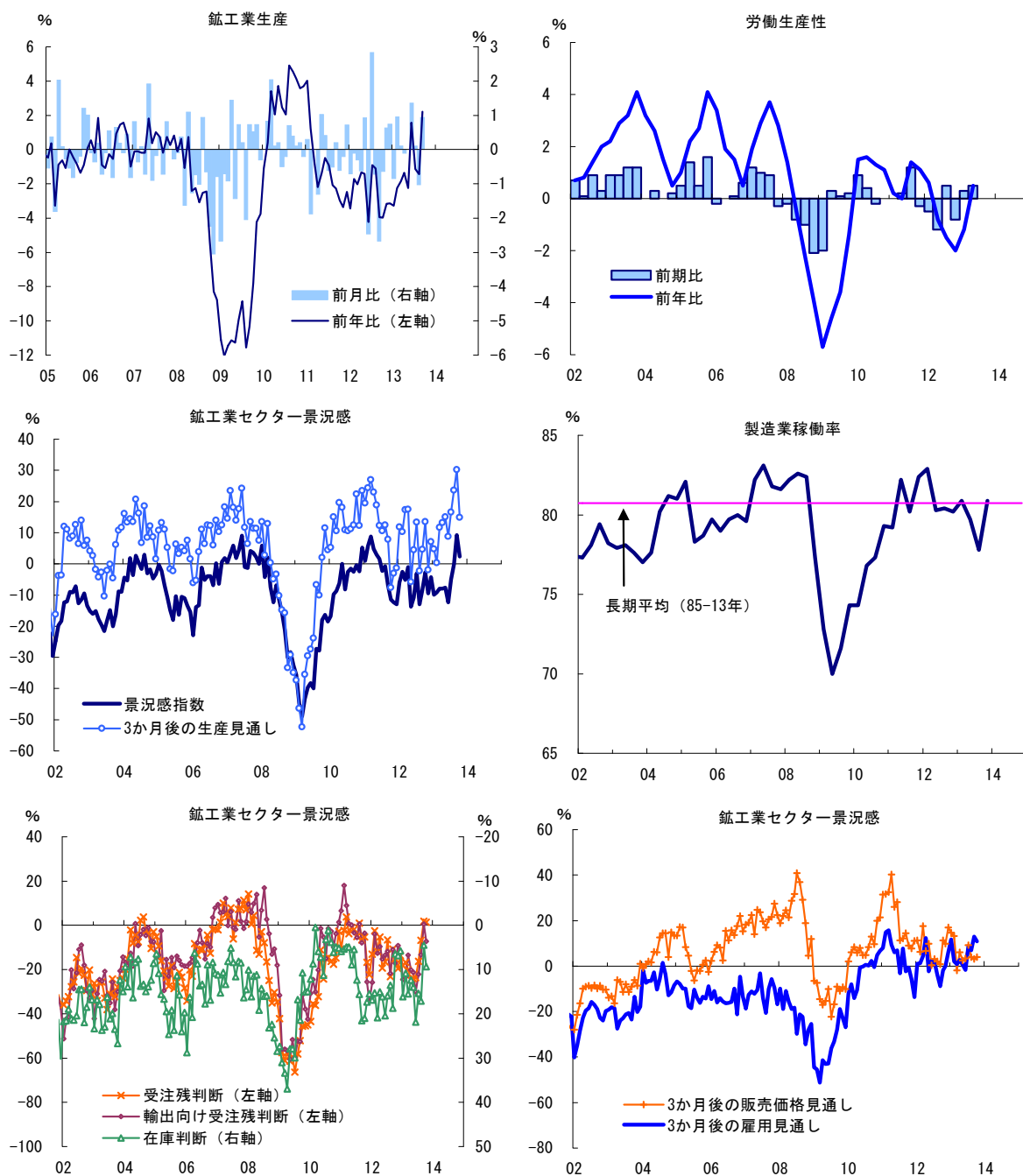


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 製造業の牽引により、9月の鉱工業生産は前月比+0.9%、前年比+2.2%と共にプラスに転じた。また、鉱業は13か月ぶりに前年割れを脱した
- 10月の鉱工業セクター景況感は前月比で大幅に悪化し、3月以降の上昇傾向に歯止め。3か月後の生産見通しや在庫判断が悪化したため。輸出向け受注残判断も悪化した
- 13年Q4の製造業稼働率は80.9%と大幅に上昇し、3四半期ぶりに長期平均を上回った

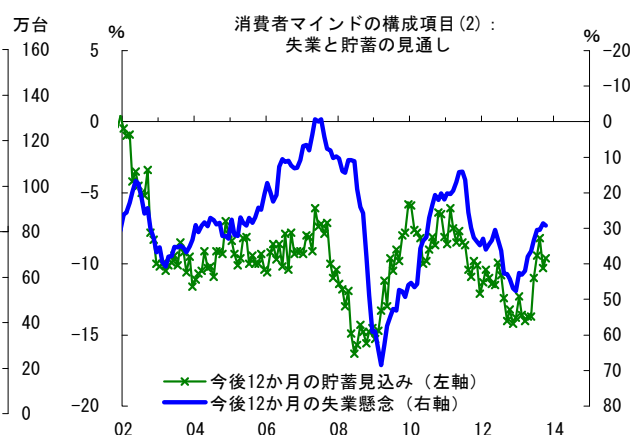
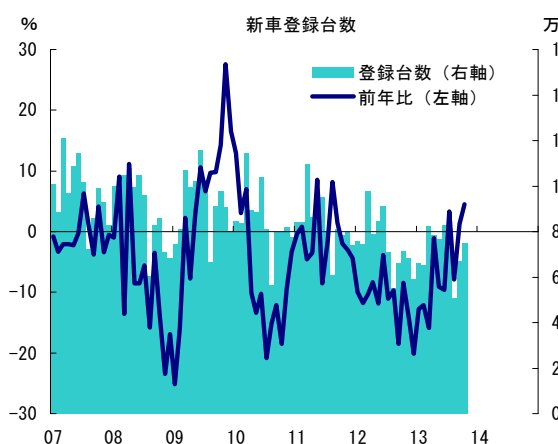
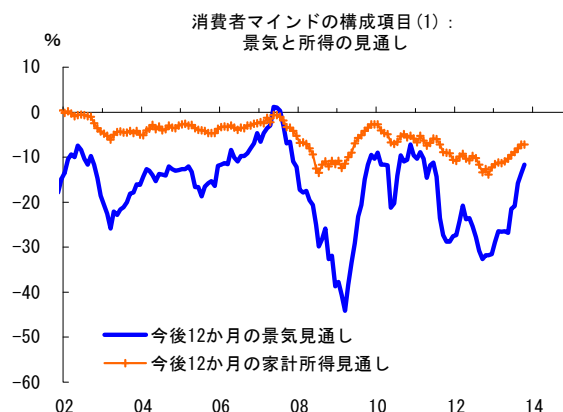
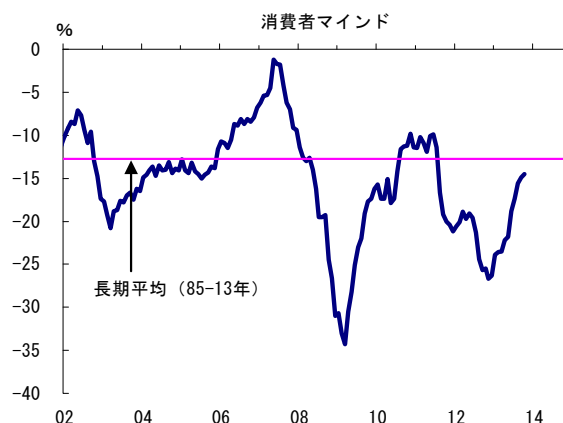
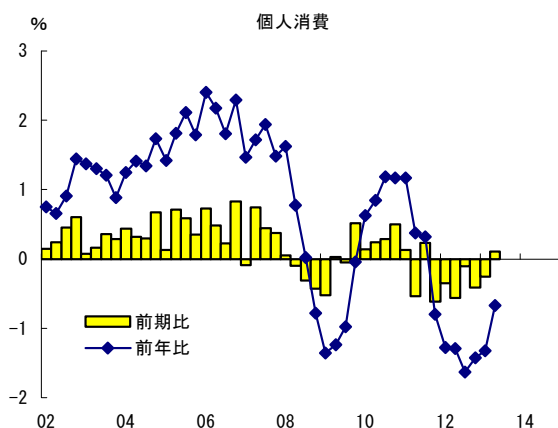


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 9月の小売売上高は前年比+0.3%と4か月ぶりのプラス。自動車燃料の売上が06年12月以来の大幅増となった
- 10月の新車登録台数は前年比+4.5%。11年9月以来の2か月連続の前年比プラスを記録
- 10月の消費者マインドは前月比での改善が続くが、ペースは鈍化

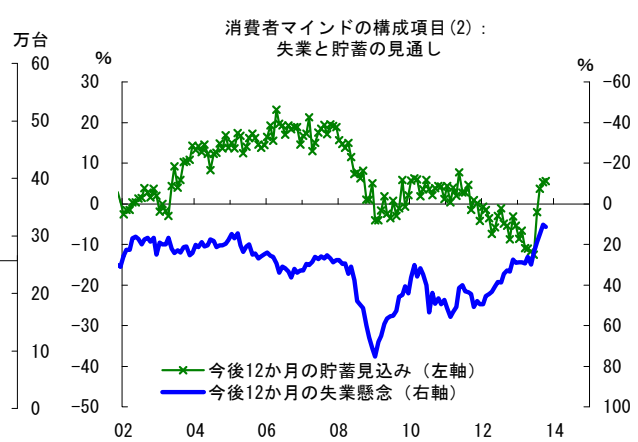
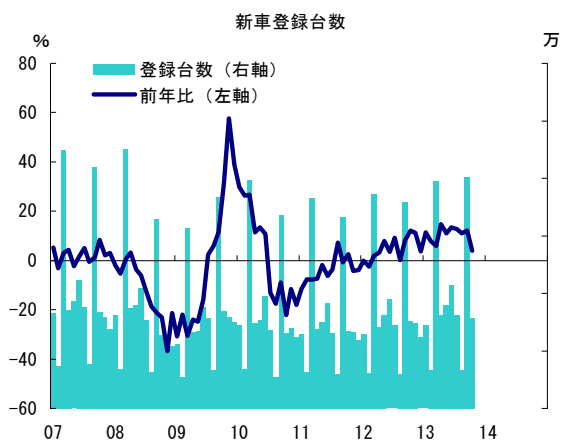
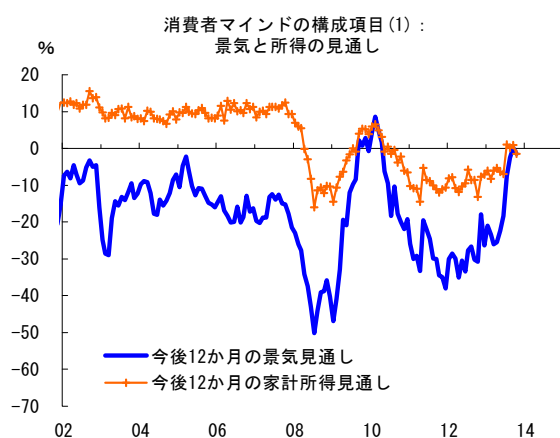
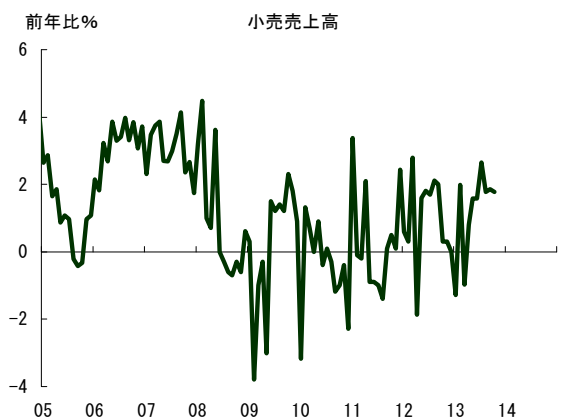
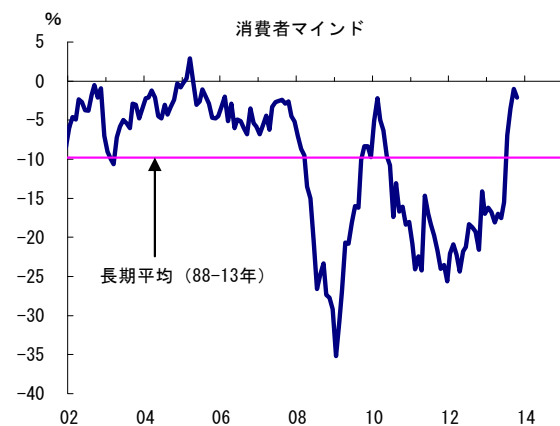
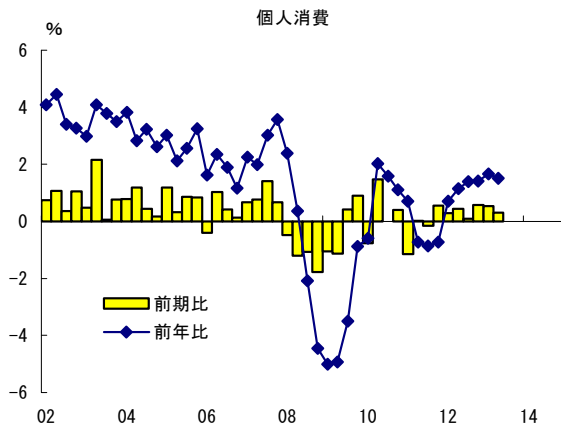


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 10月の小売売上高は前年比+1.8%。無店舗セクターの好調は継続する一方、自動車燃料は、価格が09年9月以来の大幅な低下を記録したため最大のマイナス寄与となった
- 10月の新車登録台数は前年比+4.0%と大きく減速するも、プラス成長は維持
- 10月の消費者マインドは前月比で悪化した。長期平均を大きく上回る水準に留まった

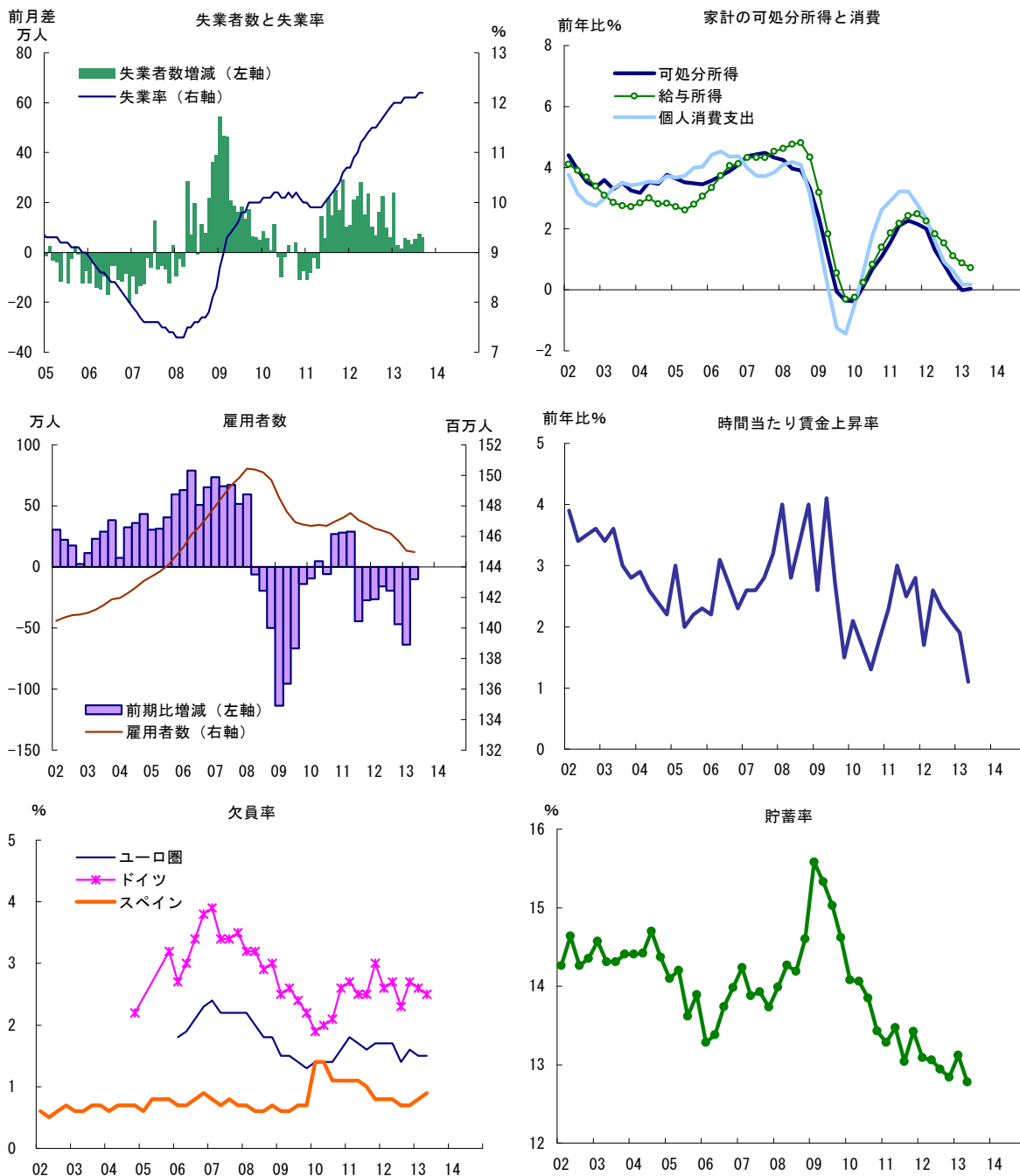


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 9月の失業者数は前月比+6万人となり、11年5月以降の増加傾向が継続。失業率は12.2%と過去最悪が続く。8、9月は、イタリア、スペイン、フランスでの失業者の増加が目立つ
- 13年Q2の家計の可処分所得及び個人消費支出は、前年比伸び率はQ1と変わらず。一方、給与所得は同+0.7%とQ1から減速
- 13年Q2の貯蓄率は12.8%とQ1の13.1%から再び低下



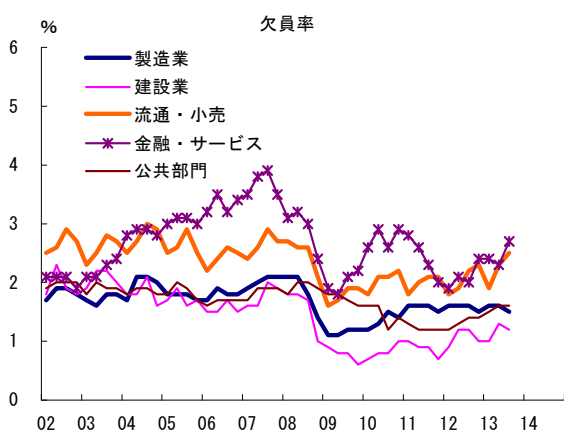
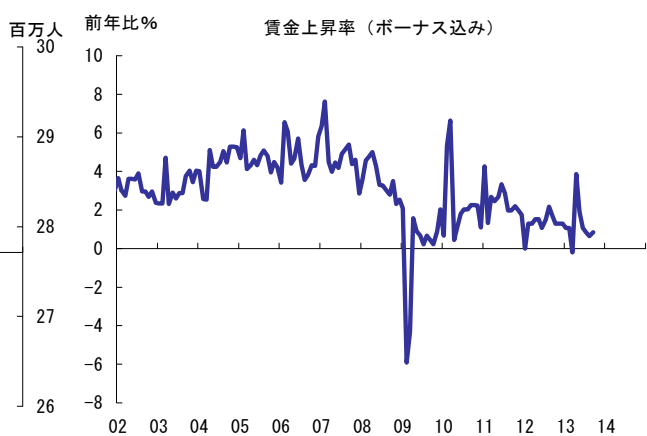
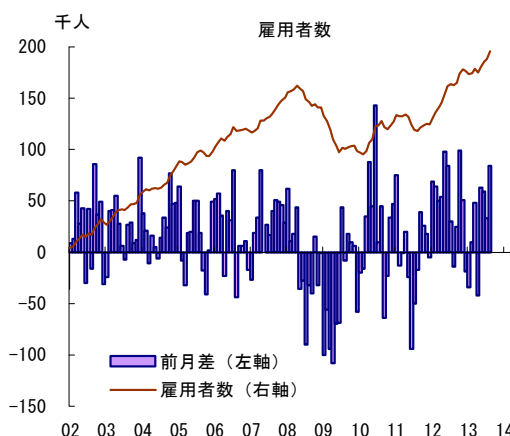
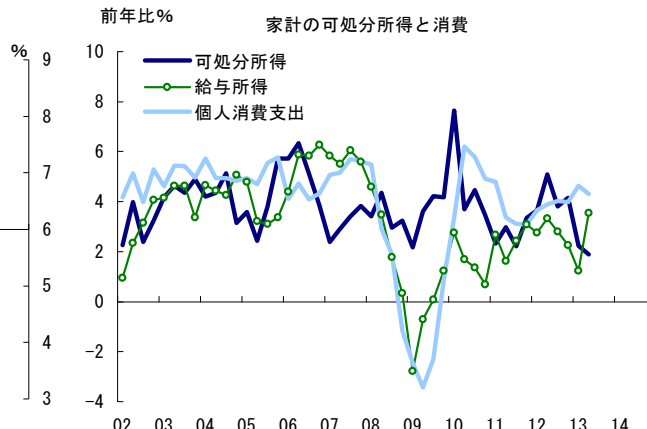
注：欠員率 (Job Vacancy Rate) =  $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成



## 英国 雇用・所得

- 7-9月の雇用者数は6-8月比+8万4千人と約1年ぶりの大幅増。雇用者数は2,995万人と71年2月の統計開始以来最多を記録。失業率も7.6%に低下
- 25歳未満では、雇用者は3万4千人の増加と06年6-8月以来の大幅増となった
- 9月の賃金上昇率は前年比+0.8%。8月と同様、公的部門のボーナス大幅減により奮わず

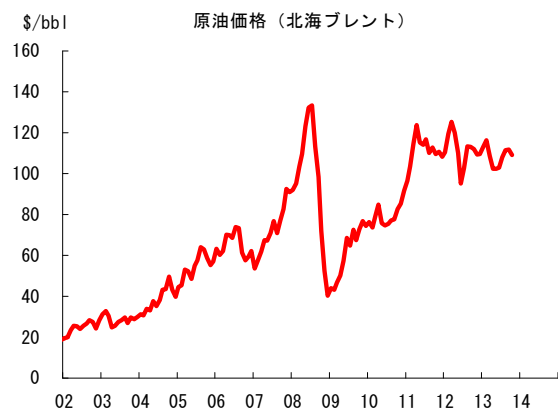
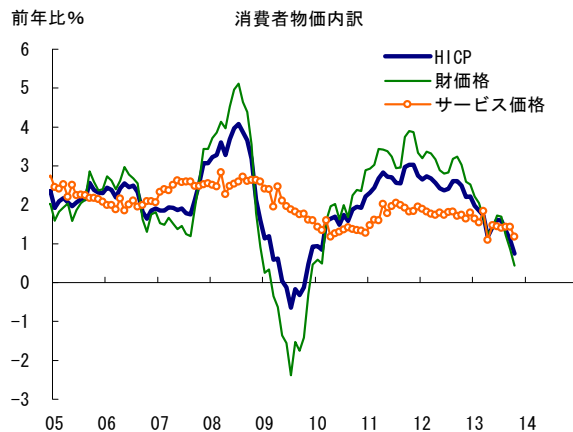
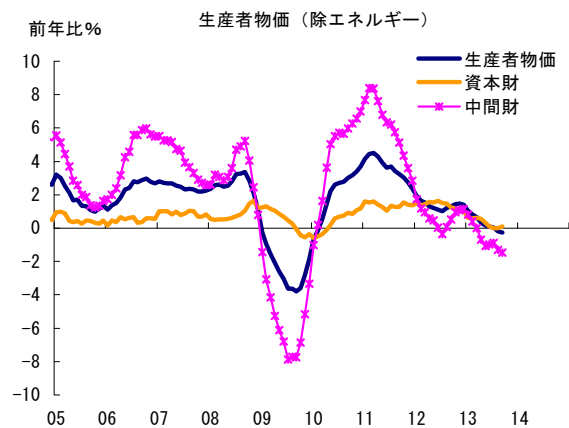
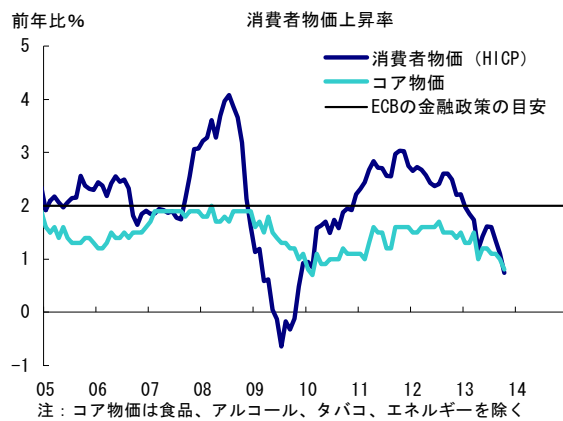


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

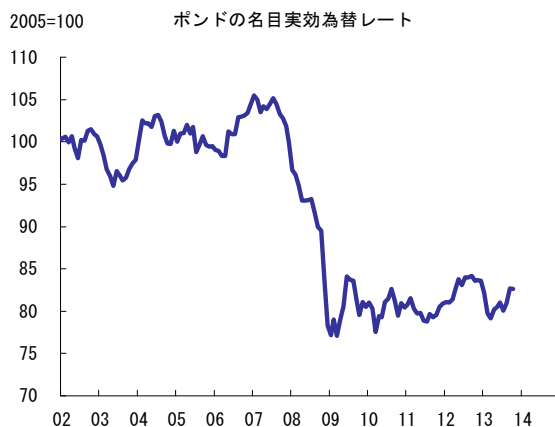
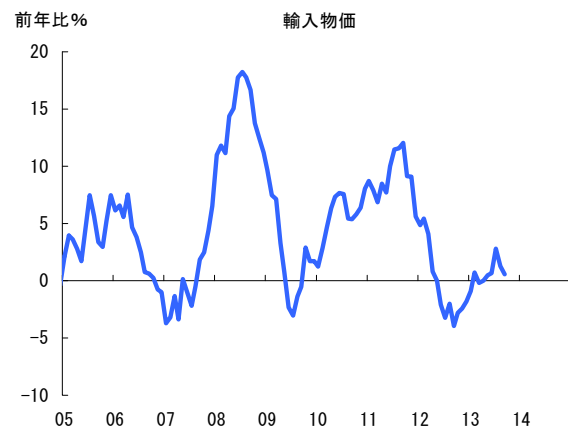
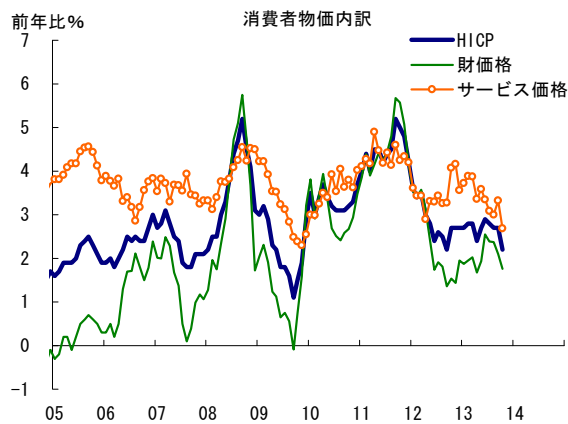
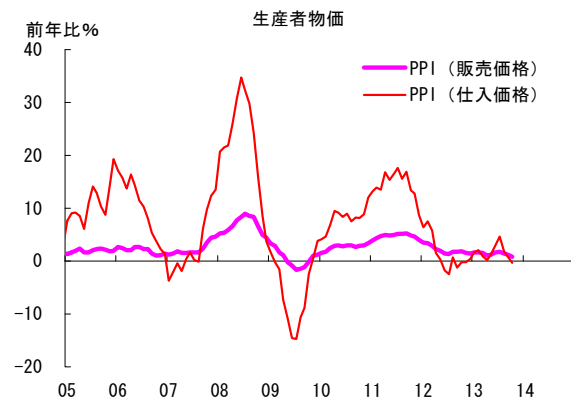
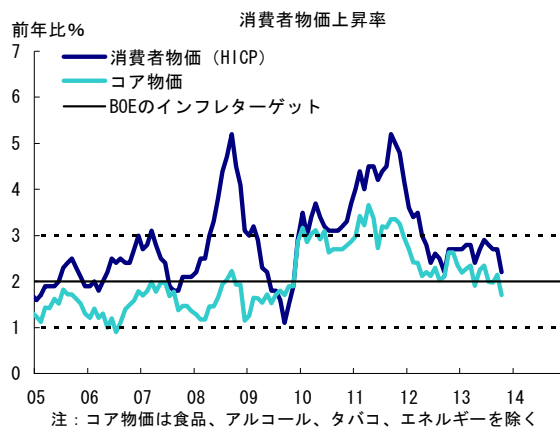
- 10月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.7%と更に低下。エネルギー価格の前年割れが続く。また、ユーロ圏すべての国で9月と比べて10月の消費者物価上昇率が低下した
- 9月の生産者物価は前年比-0.3%。中間財価格の下落傾向は続く
- 9月の独輸入物価は前年比-2.8%。ユーロの名目実効為替レートは上昇傾向が続く。10月の原油価格（北海ブレント）は前月比で下落



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

## 英国 物価

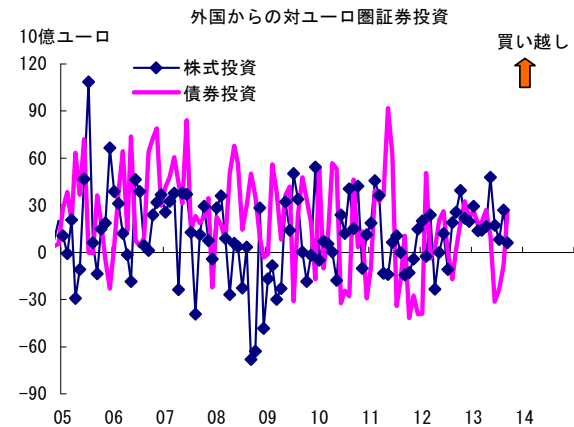
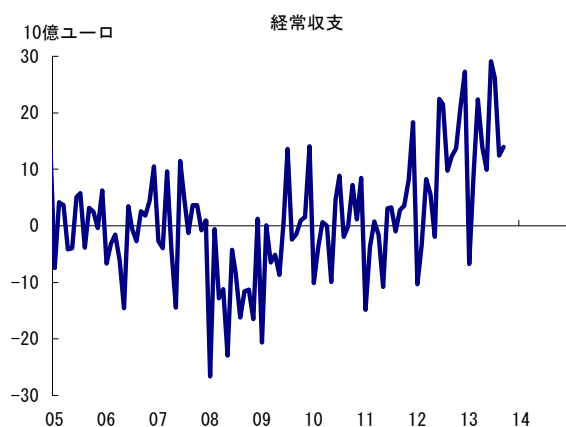
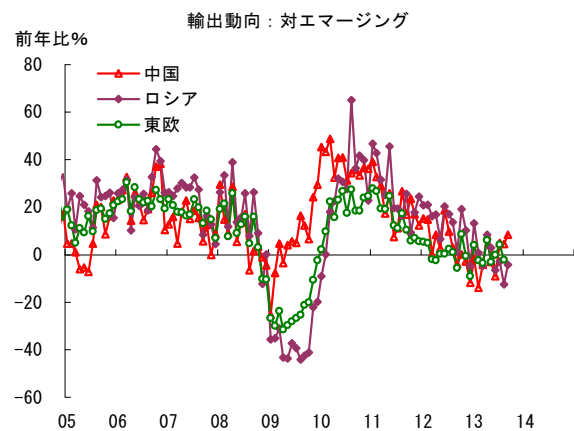
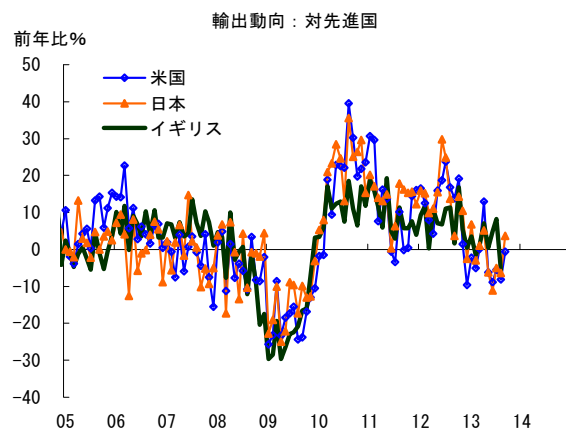
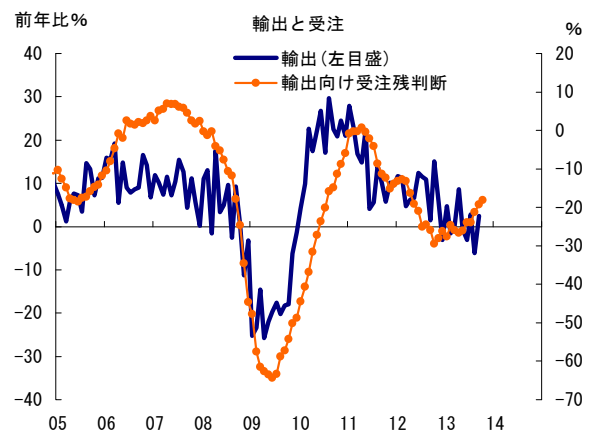
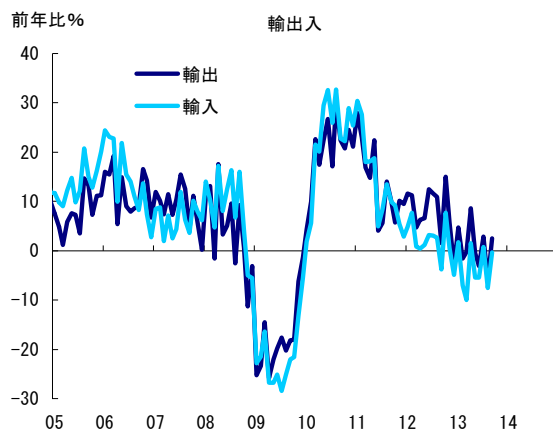
- 10月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.2%と9月より低下。輸送（主に自動車燃料）価格及び教育費が大きくマイナス寄与となった
- 10月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比+0.8%と09年10月以来の水準まで低下。主に石油製品価格のマイナス寄与により、仕入価格は同-0.3%と約1年ぶりの前年割れ
- 9月の輸入物価上昇率は前年比+0.6%と減速続く。10月のポンドの名目実効為替レートは前月比でわずかに下落



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

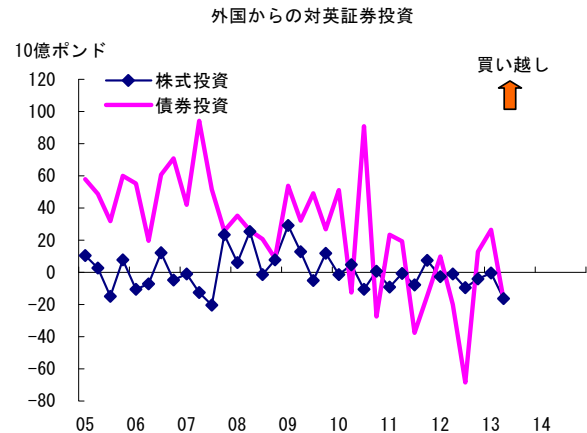
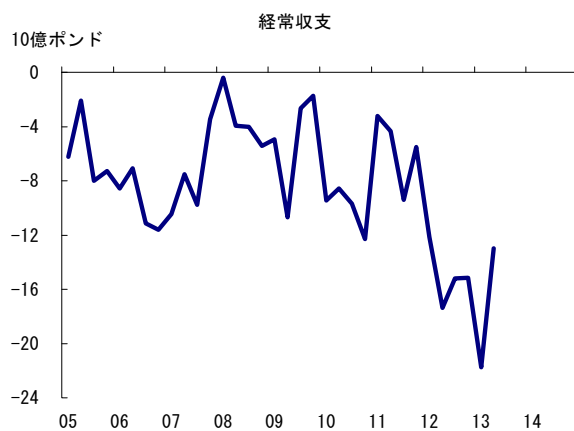
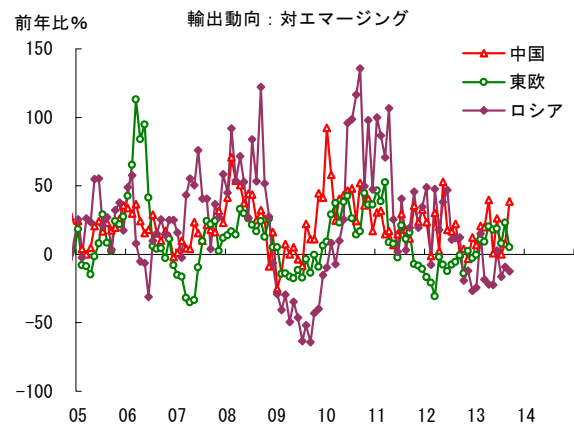
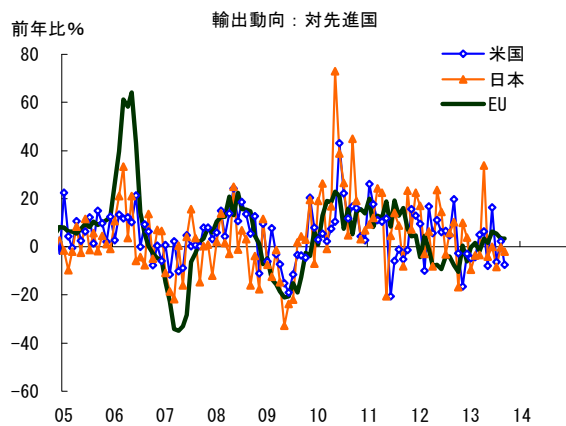
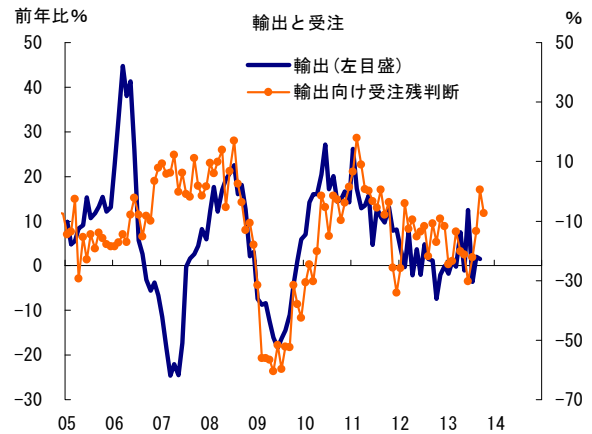
- 9月の輸出は、主に工業製品がプラス寄与に転じ、前年比+2.5%となった。輸入は天然資源のマイナス寄与により同-0.4%と前年割れが続く。輸出向け受注残判断は改善続く
- 国別輸出動向を見ると、米国、ロシア向けの前年割れが継続。日本向けは5か月ぶりに前年比プラスに転換し、中国向けは3か月連続の前年比プラスとなった
- 貿易黒字の増加により、9月の経常収支は140億ユーロの黒字と8月より増加。外国からの対ユーロ圏証券投資は債券投資が4か月ぶりに買い越しに転じ、純買い越し額が増加



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 9月の輸出は前年比+1.5%、輸入は同+3.6%。自動車の牽引によりEUからの輸入が増加し、EUとの貿易赤字は60億ポンドと過去最高を記録した
- 国別輸出動向を見ると、中国向けが大幅増。日本及び米国向けは前年比割れとなった
- 10月の輸出向け受注残判断は、7月以降の改善傾向がストップ



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成